柘植厚人（つげあつひと）

父からの最後にして最高の教育

4月の上旬父が他界しました。
私は父の最後の日を病室で看護することができました。
その日の昼間は雲一つない快晴でした。
しかし夕方になると突然雷雨が始まりました。
夕方以降病室にやってきて、私と看護を交代する予定であった弟から「雷雨が止んでから、交代に行くよ」との連絡がありました。
大きな雷鳴が続く中、父は静かに息を引き取りました。
穏やかな表情から苦しむことなく最後のときを迎えることができたようです。
その日以来ふとした瞬間に父が見守ってくれているという温かく優しい不思議な感覚が湧いてきます。
とりわけ明け方の駅前清掃活動中、父がニコニコ顔で近くに来ている感覚がします。
生前より、現在の方が深くしみじみと父を感じることが多いです。
父は自らの死を通して最後にして最高の教育を私に与えてくれました。
私も人々に温かく優しい感覚を残せるような生き方をしていこうと思います。

以上